

平成23年5月23日

松阪記者クラブ 様

連絡先 明和町農業委員会事務局

担当者 石田、河村

電話 0596-52-7149

FAX 0596-52-7136

1. 発表事項

耕作放棄地所有者の意向調査結果について

2. 内容

22年度において行った耕作放棄地現地調査の結果をもとに、遊休農地の再生と有効活用を図る観点から、本年1月に放棄地の所有者（対象310名）に対して、「耕作放棄となった時期、理由、今後の意向」を問う内容でのアンケート調査を実施し、その結果を、集計から読み取れる傾向とともにまとめた。

耕作放棄地意向調査集計結果(筆単位:田)

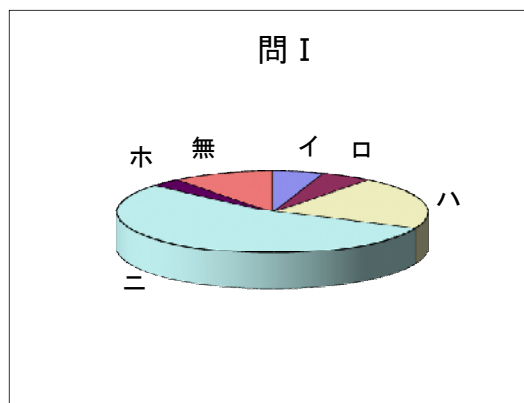
2011年1月実施(複数回答あるため数値は一致しない)

回収率 213/310 = 68.7%(2011/04/07現在)

問Ⅰ. 耕作放棄の始期

- イ 3年くらい前から。
- ロ 5年くらい前から。
- ハ 10年くらい前から。
- ニ 10年以上前から。
- ホ その他

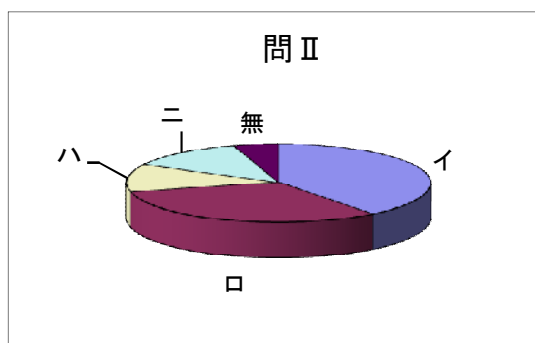
	数	割合(%)
イ	5	5
ロ	5	5
ハ	20	21
ニ	52	55
ホ	3	3
無回答	10	11
計	95	100



問Ⅱ. 耕作放棄となった理由

- イ 高齢または後継者がいないため。
- ロ 用排水路・道路等の耕作条件が悪いため。
- ハ 採算に合う作物がないため。
- ニ その他

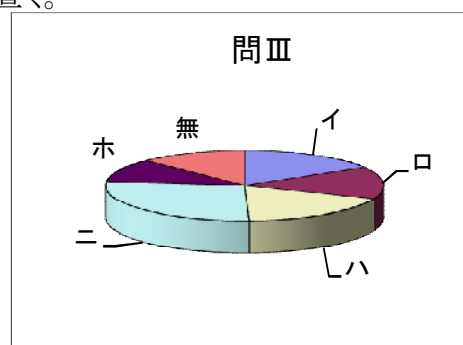
	数	割合(%)
イ	41	39
ロ	33	32
ハ	12	12
ニ	13	13
無回答	5	5
計	104	100



問Ⅲ. 将来の意向

- イ 自分(または後継者)で耕作または管理していく。
- ロ 誰かに耕作を頼みたい。
- ハ 耕作してもらえる人があれば農地として売りたい。
- ニ 自分で耕作できないので現状のまま置く。
- ホ その他

	数	割合(%)
イ	17	17
ロ	15	15
ハ	19	18
ニ	28	27
ホ	11	11
無回答	13	13
計	103	100



《傾向》

- 問Ⅰ. 『10年くらい前から』と『10年以上前から』で76%を占め、時期的にも米価が下降傾向になりつつあった頃から耕作放棄となってきたことが伺える。
- 問Ⅱ. 『高齢または後継者がいないため』が39%を占めるが、『用排水路・道路等の耕作条件が悪いため』も32% (畑は12%)を占め、田についてはこの辺も放棄となった大きな要因と言える。
- 問Ⅲ. 『誰かに耕作を頼みたい』『耕作してもらえる人があれば農地として売りたい』の自らの耕作が不能とするのが33%で畑(52%)と比べ少ないが、『自分で耕作できないので現状のままで置く』の27%を含めると6割に昇り、自らの耕作意欲は希薄と言わざるを得ない。

【参考】

	調査対象戸 数 (a)	保有戸数 (b)	保有率 (b/a)
トラクター保有状況	310	103	33%

